

---

COLOR

UMA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

COLOR

### 【Nコード】

N86020

### 【作者名】

UMA

### 【あらすじ】

毎日を適当に生きていた高校1年生の早南。だがある日事故にあっってしまう。

支えてくれていた家族も何か隠しているようで…？

鍵を握るのは早南の兄、壱也。

壱也と早南の心の変化などが見どころです。

## 私の世界

私の名前は三城早南。さんじょうさな高1。

私には、大切な友人も恋人もない。ただ適当に毎日を生きているだけだ。私はいつ死んでも悔いはない人生を生きていると思っていた。自分なりに毎日をただ生きているだけだ。

「んーッ！今日も普通に終わった」

…さて、帰ろっかな！

…いつもの帰り道を通って、いつもの交差点を曲がろうとしたその時……………キキーッ…バーン！

……………えっ？うそ、私……………わたし……………は……………

ここで私の意識は途切れてしまった…

気がつくと、私は病院のベッドにいた。約3日眠っていたらしい…

…。

『起きた？』

……………かあさん……………。

『喋らないで。……………あなた、ひどかったのよ……………。3日も寝ていて……………』

かあさんは涙声になっていた。頬に涙が伝っていた。かあさんは普段人前で涙は流さない人だった。

私は母さんの涙の意味を理解できなかった……………。ただ母さんは安心して涙を流したと思っていた。

あれから約2ヶ月がたった。

私の体はだんだん良くなっていった。

そして

『おめでとうございます。退院しても良いでしょう。』  
とうとう退院することができた。

「自分は完治したんだ！！やっど……………！！！」

『よかつたじゃない。』

母さんはどこか悲しみ混じりの笑顔を浮かべていた。そして浮かれていた私は、母さんの言っていた言葉を聞き逃していた。

『 ああ、もう2ヶ月もたったのね・・・』

あと少ししか時間がないじゃない。』

## 私の世界（後書き）

はじめまして。

UMAです。

小説を書くこと事態は何回目かですが投稿するのは初めてで緊張しています。

まだまだ未熟な私ですが、皆さんに面白い、また読みたい。と思われるような小説を書きたいと思います。  
これからよろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8602o/>

---

COLOR

2010年11月12日02時47分発行